

野球のポジションにおける特徴と比較に関する研究

—特に二塁手、遊撃手について—

平田 卓也 (競技スポーツ学科 コーチングコース)
指導教員 植田 実

キーワード 二塁手 遊撃手 特徴 比較

1. 緒言

守備の中心はセンターラインと呼ばれる投手、捕手、二塁手、遊撃手、中堅手で形成され、特に二塁手と遊撃手は最も難しいポジションとされている。なぜなら内野ゴロの多くは二塁手と遊撃手の守備範囲に飛んでくることが多く、両者のアウトへの関与はあわせて一試合の1/3にも及ぶ。その動きはきわめて複雑である。自らが打球を処理する機会も多いが、連携やカバーリングが必要で、他の野手に指示を与えるなど守備の指令塔となっている。著者も二塁手と遊撃手を専門としており、動きや能力にも違いがでてきた。

そこで本研究では、文献研究とアンケート調査から二塁手と遊撃手の特徴を比較し、違いを明確にすることを目的とする。

2. 研究方法

文献研究、アンケート調査

本研究の調査対象は、びわこ成蹊スポーツ大学野球部と滋賀県内の高校野球部4校の二塁手(27名)、遊撃手(24名)。

3. 結果と考察

文献研究とアンケート結果の内容は一致することが多く、違いは動きの質が違うことである。能力の特徴として「足が速い」「肩が強い」という回答が順に多く、求められる能力は自覚している。

対象者の性格やプレイスタイルにも関連するが二塁手の回答は内容が深く、遊撃手の回答は内容が浅く書かれている。このことから二塁手のほうが守備に対する意識が高く、物事への取り組み方に違いがあらわれた。

4. 結論

文献研究とアンケート結果から二塁手と遊撃手の比較をまとめたものは図1, 2である。

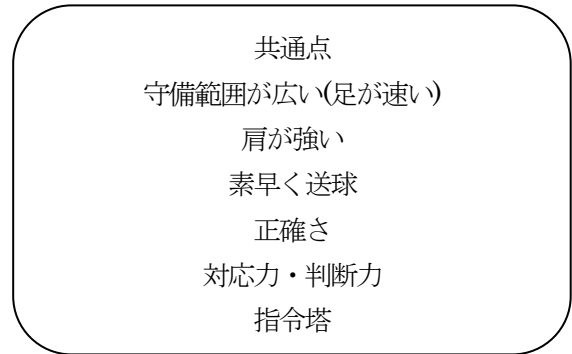


図1 二塁手、遊撃手の共通点

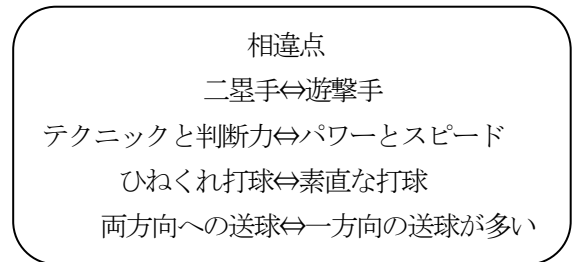


図2 二塁手、遊撃手の相違点

5. 今後の課題

研究対象者がアマチュアならば中学生、高校生、大学、社会人の競技レベルの違いや滋賀県内だけでなく全国47都道府県にアンケートをとることで出身地別などの比較もできる。またアマチュアに限らず、プロ野球やメジャーリーグの二塁手、遊撃手にアンケートを取ることが出来れば、新たな違いが見つけられる。

参考文献

- ・井口資仁 著 (2007)
二塁手論 幻冬舎
- ・矢崎良一 著 久慈照嘉 監修(2009)
遊撃手論 PHP研究所